

検討資料 1

23区的一般廃棄物処理基本計画に関するアンケート結果

1 23区の基本計画の策定期間及び計画期間について

(1) 基本計画の策定期間

年度 項目	25年 度以前	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34年 度以降
前基本計画 策定期間	23区									
現行基本計画 策定期間	5区	2区	9区	3区	3区	1区				
計画改定 予定時期						1区	1区	4区	9区	5区

※計画改定予定時期については未定の区が3区ある。

(2) 基本計画の計画期間

5年	6区	9～10年	16区	15年	1区
----	----	-------	-----	-----	----

2 ごみ量予測について

(1) 区収ごみ量予測状況及び集計方法

区収ごみ量を 予測している	22区	事業系を 含む	21区	可燃、不燃、粗大を個別で集計	10区
				可燃、不燃、粗大を一括で集計	11区
	事業系を 含まない	1区		可燃、不燃、粗大を個別で集計	1区
				可燃、不燃、粗大を一括で集計	—

※ごみ量を予測していない1区は一人1日当たりのごみ排出量を目標として定めている。

(2) 持込ごみ予測状況及び集計方法

持込ごみ量を予測している	15区	継続持込と臨時持込を個別に集計	4区
		継続持込と臨時持込を一括で集計	11区

(3) ごみ量の予測手法

① 課題検討報告No.9「長期的なごみ量推計の手法の検討」の考え方	7区
② ①の考え方を一部変更したもの	4区
③ 区収ごみ、事業系ごみともに区独自（コンサルを含む）の予測 [主な算出方法] ・排出原単位（過去実績より）×人口推移 ・過去の実績からトレンド推計 ・基準ごみ量×人口推移	12区

(4) ごみ量の予測期間

基本計画期間と同じ	21区	別途設定	1区	その他	1区
-----------	-----	------	----	-----	----

(5) 予測したごみ量

現状推移値のみ	2区	目標値のみ	4区	併記	15区	その他	1区
---------	----	-------	----	----	-----	-----	----

※現状推移値：近似式や人口動態などを用いて予測したもの。

※目標値：現状推移値にごみ減量施策などを加味して予測したもの。

### 3 予測したごみ量と実績値との状況

アンケート結果より平成 25 年度から平成 37 年度までの目標ごみ量及び現状推移ごみ量の推移を試算した。(図-1)

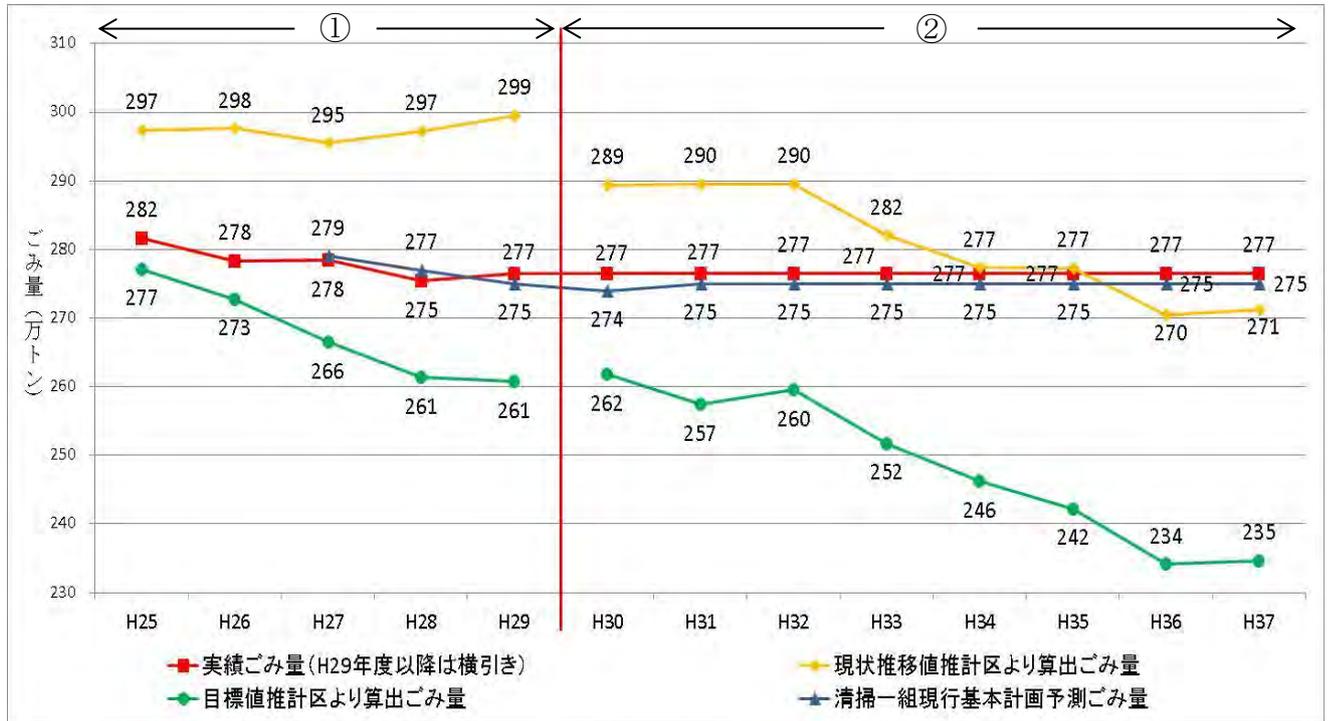


図-1 23区のごみ量と清掃一組現行基本計画予測ごみ量及び実績ごみ量

※①：前回アンケートごみ量集計期間 ②：今回アンケートごみ量集計期間

[試算方法] アンケート結果では、全区が目標ごみ量又は現状推移ごみ量を予測していないことから、以下の計算を用いてごみ量を試算した。

$$\{1 + (23\text{区の基本計画のごみ量の合計値}^{*1} - \text{実績値}^{*1}) \div \text{実績値}^{*1}\} \times \text{平成29年度実績値}^{*2}$$

※1 目標値及び現状推移値を算出している区の合計  
 ※2 H25年～H28年は各年度の実績値を使用

### 4 23区のごみ減量への取組

各区で実施しているごみ減量施策の主なものについて集計した。(表-1)

表-1 各区の取組

取組項目	取組んでいる区	今後検討する区
食品ロス削減など生ごみの発生抑制	10区	3区
紙類の分別による資源化	8区	1区
事業系区収の見直し、排出指導	8区	2区
不燃、粗大ごみからの資源回収	2区	—
不燃、粗大ごみの資源化	4区	3区
資源の拠点回収、集団回収の促進	5区	1区

※各区では、その他多くの施策を実施、検討しているが、回答が複数あったものを記載している。

本資料は、平成30年5月に23区に対して実施したアンケートに基づき作成したものです。